

「秀人帰ってたんだけ
冷凍庫にアイスあるよ」



小島詩乃(姉)

(俺黙ってたけど他人の身体を
乗っ取ることできるんだよね♡)

「お友達も勝手に
食べてね」



「ははいっ
お邪魔してますっ」

「お前の姉ちゃん
すげえ可愛いなっ!!」

「どこがだよ」

「俺我慢できねえ
ちよつと寝るわ」

「はあ!?!」

「おい起きろって
何しにきたんだよ」

「だめだこいつ
起きねえ」

(だから可愛くておっぱいでかいお前の
姉ちゃんの身体使わせてもらうからな
ドスケベすぎるのが悪いんだ♡)



(俺と詩乃は一心同体♡俺のやりたいことが
詩乃のやりたいこと♡会って間もない俺が
詩乃の世界の理解者ってゾクゾクするな♡)

夜まで身体を
弄り回した

「ふう♥何回いったかもう覚えてねえや♥」

「孝晴の姉ちゃんと俺相性最高だあ♥」



「っておいそれこいつの食べかけだぞ?! なにやってんだよ!」

「あっ…」

小島詩乃(20)女子大生
ダイエット中

(やっぱ今俺はこいつの姉ちゃんになってるんだって忘れて食事の続きしちゃったよ)



(腹減ったあ女のオナニっつて体力こんな使うんだな)

憑依中

「姉ちゃんまたこいつ寝ちゃってさあ」



「ほ、ほら太郎くんかっこいいから食べかけってご褒美じゃない?(錯乱)」

「はあ!? 彼氏いるのにやばいだろ!! それになんでこいつの下の名前…」



「なんで姉ちゃんが太郎の隣に座るんだよ」

「だって姉弟で並ぶの気色悪いでしょ♪」

「ていうか近くない？
いつのまに仲よくなったの？」

「わたし達のことはいいいから早く何か頼みなさいよ言っとくけどあんたには奢らないからね？太郎くんが特別なだけだから♡」

「ええ…まあ良いけどうーん…？」

詩乃の身体で喋りながらまんこいじるの背徳感やつべえ!!
お前の姉ちゃんと俺机の下でお互いの股間いじりあってるんだぞ!!

「じゃわたしたちトイレ行くから
注文受け取っておいてね♡」

「はあ!?なんで
二人で行くんだよ!」

「へへへお姉さんに誘われたら
断れないからよろしくな」

「なんなんだよ…」

「こっそりまんこいじり
すぎて我慢できねえよ♡」

詩乃はほんとドスケベな女だぜ
それでこそ俺の女だよ

ここで一発ヤリてえけどせっかくの
お楽しみは詩乃の部屋でじっくりとな♡

詩乃のふとももばんつスカート
ズリで抜いて我慢するかな♡



「うんお母さん
おやすみー」

「ささと帰ったフリして詩乃の部屋に
俺の身体を寝かせておいたんだ♪」

「あそこまでやったら
セックスするしかねえよな♥」

「詩乃のベッドに入るのは
弟のあいっつでもできない
から興奮するぜ♥」

「まあ詩乃の物は全て
俺の物なんだけど♥」

「いっばいイかせて
やるからな詩乃♪」

「うん愛してるよダーリン♥
なんちゃって♥」

「俺の女おっばいがかくて
可愛くて良い匂いして
最高の女すぎるぜ♪」

「よし詩乃のパンツ
全部干せたな」



「昨日はセックスしたあと身体ふたつ使って
パンツせんずりとパンツまんずり堪能したから
詩乃のパンツ汚しまくったんだよなあ」

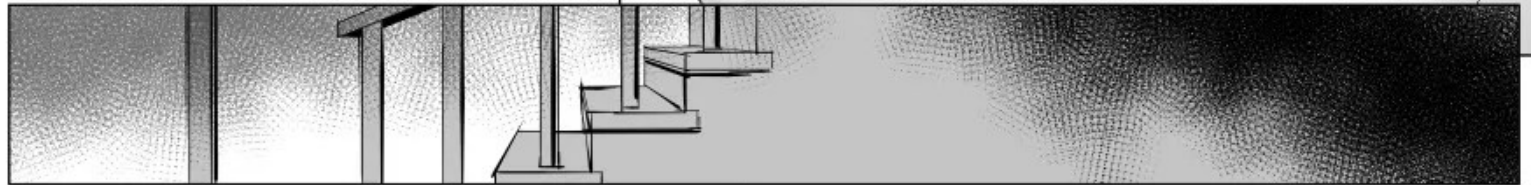
「これから詩乃の部屋は俺たちのヤリ部屋に
なったからいろんなプレイ楽しむぞ♡」







裕貴の姉ちゃん
と俺って
相性最高なんだな♡







どうして姉ちゃんが太郎の隣に座るんだ

別にどこでもいいでしょ？太郎くんの近くにいたい乙女心かわからないからあんたモテないのよ

お姉さん俺のことそんなに褒めなくても

なんなんだよ……



太郎くんセンスあるんだね♡

俺とお姉さん全く同じ味覚なんだ奇遇だなあ



ほらお姉さん俺の特製ブレンドジュース飲んでよ

ええー飲んでもいいの？



むしろ太郎くんになら見られたいなんて♡

ひどいねわたし
だったら絶対怒らないのに



クラスの子が階段登ってたから
パンツ覗いたらブチギレて来てさあ

女ってほんと
意味不明だよなあ



…あつトイレ!
わたしたちトイレ行ってくる

なんの話
してんだよ……



え〜お姉さん困るなあ〜



なんで二人で
行くんだよ!?

あんたは注文
受け取っておいてね





あいつの前で
いきそうになっちまったよ



こころまじでエロすぎるっ

ガニッ



詩乃セックス
するぞっ!!



もう我慢できねえ



俺の女っ

詩乃は俺のものだっ

グ

キョッ

俺の女っ

このっスケベ女っ

ふあっ♡

あんっ♡

ビクッ

あ

ビクッ

ズキョッ

ズキョッ

ズキョッ

っっ♡

ズキョッ

ああんっ♡

出してやるっ
出してやるっ

ビクッ

たや

あっ♡

ズキョッ

ズキョッ

ビクッ



あああああつ♡♡

あああああつ!!

なあ遅くないか?



詩乃は一生俺の女だ
絶対手離さないぞ♡

まだまだやり足りないから
続きは詩乃の部屋で♡

♡♡♡♡♡



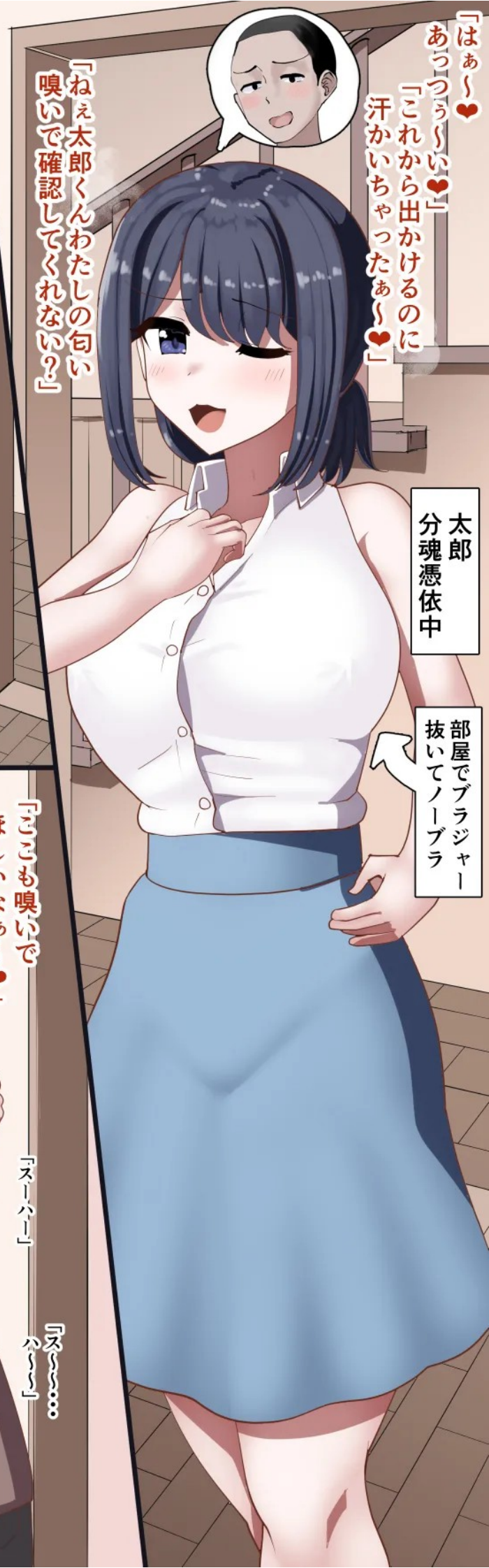
えっちょっ!?

あんたは自分で払いなさいね
わたしたちは先に帰るから



「へへっお姉さん
わかりました〜」
「んっ♡」
「あ〜良い
匂いっすね〜」

「おい何して
んだよっ!？」



「はあ〜♡
あつ♡つう〜い♡」
「これから出かけるのに
汗かいちゃったあ〜♡」
「ねえ太郎くんわたしの匂い
嗅いで確認してくれない?」

太郎
分魂憑依中

部屋でブラジャー
抜いてノーブラ



「ごごも嗅いで
ほしいなあ〜♡」
「あ〜これは
たまんないっすね〜」

「お前らほんとに
何してんのっ!？」

「めっっちゃ女の子の
匂いするんで
大丈夫っすよ〜」

「太郎くんに褒め
られて嬉しい〜♡」

「ス〜ハー」
「ス〜ハ〜」

「そうだあんた牛乳
買ってきなさい」

「はあ？」

「なんでだよ」

「いいから
行きなさいよ」

「お金あげるからほら」

「つたくわかったよ
なんなんだよもう」

「あつ太郎くんは
行かないでね♡」

「わりいな俺はお姉さんと
留守番しておくからさっ」

「ooooo」

「あいつの前で弄つてたから
詩乃の身体が俺のちんこを
ほしがって困るぜ♡」

本体の乳首舐めと連動して
詩乃の舌も動いてる

「何度も乗っ取ってるけど
本当にいい女だよお前は♡」

「あいつが帰ってくるまでに
詩乃のまんこを俺のちんこで
悦ばせてあげないとな♡」

「この身体誰にも渡したくないしもう
詩乃と結婚しちゃおっかなあ♡」



なんでお前が裕貴の家にいるんだよ!

あんたが来るなんて裕貴から聞いてないわよ

なにその服ダッサ

ひわたり かなな
日渡 葉菜

はい



お前ら付き合ってたんだな

はあ~~~~!!?

今日はたまたまご両親とお姉さんがいなくていっしょに勉強してただけで

裕貴は飲み物買いに
行ってるだけで

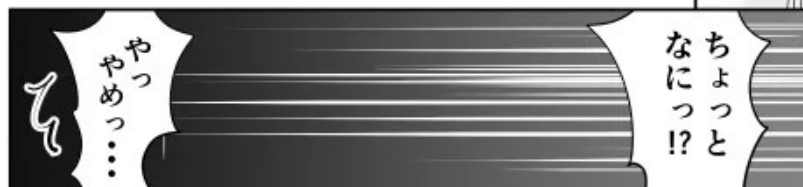
まだわたしたち手しか
つないでないし

……って



なーんだお姉さんいないのかよ……

じゃあ今日は
お前にしよっかな



ちよっと
なにっ!?

やっ
やめっ……

ガチャ

ただいま

ん?
誰かいるのか?

カンナ?



あつ

太郎きてたのか

ああ!!

お前らの勉強の
邪魔しないからさ
いさせてくれよ

別に
いいけど...





他人の身体に憑依
することができる

いつもは裕貴の姉
詩乃の身体でオナニー
したりセックスしたりと

女体ライフを
楽しんでる



俺の名前は太郎

ごめん太郎のぶんは
買ってなくて...

おっおう
頑張れ〜

さっやろっか
うんっ!!

ストレイ



今日はこいつで
遊ぶとするかな

ジュースいいなあ
俺も喉乾いたんだよなあ



帰ってくんの早えよ
身体まだ弄りきれてねえ〜
おっぱい揉んでおこ

今はこのカンナに俺の魂を
半分憑依させて操っている
器用だろ? 結構難しいんだぜ

ニムム







この写真バラ
まいてもいい
んだけど〜?

はあ!?
自分で拾えよ

太郎あんた
拾いなさいよ

あっ

嫌な女だぜ
仕方ねえな

5



よーしまんこ
見ちゃうぞ

さっきまで弄り回し
てたから濡れてるぜ
まんこエッロ



ごめ〜ん
こぼしちゃったよ

タオル
もってくるよ

太郎あんた
舐めなさいよ

はあっ!?

ニヤ

お前って
ドジだなあ

裕貴まって
大丈夫

カンナっ!?

スツ

ニヤ
ったく
わかったよ!

今日からあんたは
わたしの犬だから♡



あんっ♡
くすぐったい♡



ペロペロ
気持ちいいかも♡

その調子よ♡
わたしのワンちゃん♡

ひゃんっ♡
いいわよ♡



お前には関係ないだろ!
こいつ詩乃さんと仲良くて生意気でしょ? わたしが変わりにこらしめてあげる!

そこまでもしなくても...

着替えるから裕貴は出てくれない?



太郎わたしの濡れた服とあなたの服交換するわよ!

お前のスカートを俺に履かせるのか!?

えっそれって二人で着替える...

俺からも頼むよ裕貴こいつに逆らえないんだよ

カンナ何を言ってるんだ!?



ふん賢明ねほら裕貴?

わわか ったよ...

もう入って
いいわよ♪

くっそく
この女っ

じゃーん
どうかしら♪

本当に
着替えたのか…

見てわたしのパンツ
履かせたの
恥ずかしいでしょ

カンナのっ!?
やりすぎだって!!



裕貴同情しないでくれ
俺はいいんだ…

ガパン

X
K



しかもわたしがさっきまで
着てたから人肌の温もり
気持ち悪いでしょ♥

なにやって
るんだよ…



そうよ!

俺はお前の
奴隷かよっ

乾いたら返してもらおうからね
わたしの服で反省しなさい!

女の子の服着せられるなんて
女の子のあんたにとって拷問よね♥

今はあんたが日渡葉菜
なんだから代わりに
勉強しなさい♡

この女っ…
カンナ…

あっ♡
そこ違うっ♡

んっ♡

そこもっ♡

SEX
fuck

いくっ♡

あうっ…

感覚共有

……？

カンナのパンツには
俺の精液がたっぷり

俺のパンツには
カンナの愛液がしっとり

また履き替えるの
楽しみだぜ♪

つづく…？

ちよっ
ちよつと
トイレ!!
太郎

ふうー

あぶねーカンナのパンツ
小さいから精液漏れる
ところだったー

カンナのブラジャー
着替えた時に隠し持っていた

トイレでシコってるのが
カンナの身体に共有される

おい太郎と服の
交換なんてやっぱ
おかしいだろっ!!

しかも下着
までっ…!!

太郎がイくと
カンナもイく

今日のカンナ
変だぞ…

射精の余韻が
カンナのまんこに
伝わってる

SEX
FUCK

ねえ着替えるから出て行って欲しいんだけど

お前らそんな仲じゃないだろ!? 家族でもおかしいからな!!

太郎が来てから姉ちゃんも変だしお前なんなんだよっ

裕貴が嫌ならせまーいトイレに二人つきりて入っちゃおうかな〜♡

それとも女の子のトイレ覗きたいの?

うわ〜変態♡

モロっ♡

なんだよもう…

何言ってるんだよお前の姉ちゃんが俺に惚れただけだろ嫉妬か?

でも5分なっ!! 5分で着替えろよっ!!

最後はお互いの身体をこすりつけあって♡

すりすり〜♡

5分じゃエロいことなんもできねえ♡



あいつがうるさいから
さっさと着替えますか！

本当のお楽しみは
このあとで……

うわー俺のパンツずいぶん
愛液でぬらしてくれたな

エキ
エキ

ぬぎ

ゾクゾク

ぬぎ

スル

このスケベ女め

愛液が糸引いてるよ
エツロ……

いった女体の素肌に
空気が触れるの
気持ちいいぜ

カンナお前の身体
気に入ったぞ

今日からお前も
太郎ガールの一員だ

ほろ

ほろ

エキ

エキ

うわあ〜
くっさ♡



べっとり
マーキング
したな♡

これを今からカンナが
履きまゝす♡

やっぱ
これ♡

精液を吸い込んだパンツが
カンナのまんこにぴったり
貼り付いてくれる♡



ゴムのびちゃったけど
これならズリ落ちないな♡

びたま♡

あとでたっぷり注ぎこんで
やるから今はこれで
我慢してくれよカンナ♡



あっ♡



そんなじゃ
俺らは帰るわ

待てよなんで
二人でなんだよ

俺も行くっ!!

はあ

つたぐ
仕方ねえなり

ニヤニヤ



見て裕貴わたし今
ノーブラなの♡

!?

ぐいっ

ニヤ

おっぱい
ニヤニヤ
興奮して乳首がたってるから
おっぱいがひっかかかってるんだよ♡
ジャンプしたら
こぼれちゃうかも♡

童貞には刺激が
強かったかな?

うっ...

勃起したら追っ
かけられないだろ

玄関

ニヤ

ニヤ

ニヤ

カカンナ...

へえ〜

お前でもちゃんと女の子の部屋してるんだなあ〜

この部屋に入った男は太郎が初めてなんだよ♥他の男が近づかないように太郎の痕跡いっぱい残してね♥

って言わせたりして♥

そうだ♥本当はどう思ってるかな〜♥

ん〜♥記憶を讀んで〜♥

そんな最低男にお前は身体を使われてんだっ♥

服交換して俺の精液吸い込んだパンツ履いてるんだぞっ♥

最悪っ!!

なんでこんな最低男がわたしの部屋にいるのよ!!

裕貴だって子供の時にしか来てないのにっ!!

ふーん…

俺のこと大好きなド変態じゃないとできねえよなあ♥

さつきは犬扱いして
ごめんなさい♥
犬なのは間抜けな
わたしですう♥

わたし日渡 葉菜は
ひわたりかなな
太郎様の犬ですう♥
どんな命令も
従いますう♥

よろし
よろし



カンナを犬にする
プレイをしたり

わたしのベッドで
寝るなら犯されても
文句言えないわよね〜?

スケベ女が
襲っちゃ
うわよ♥

逆レ○プ
させたり



きゃう
うん♥

この毛布の中に入ったら
わたしの性欲が尽き果てる
まで出られないからね♥

ああんっ♥

あんっ♥

あんっ♥

うわ〜
変態だ〜
ニヤニヤ



カンナのベッドで俺たちは一つの生き物としてぐっちゃんぐちゃに交わった

お互いの匂いが同じになるほど

そうだいいこと思いついたわ

わたしのこの部屋を太郎専用のヤリ部屋にしましょう

学校の女子を女のわたしが連れ込んでえそれを太郎が犯しまくるの

よしカンナこれからは俺のために働いてくれお前に恋してる暇なんてないからな

裕貴のことなんて忘れて女を献上していきま

中出ししまくったあとカンナの下着入れにも記念に射精してみた

お前の全てが俺のもんだぜ



「太郎今日こそ
決着をつけるわよ!」

「いっしょに
勉強するんじゃ...」

「女の意地をかけた
戦いだから先に
帰ってて!」

分魂憑依で
仲悪い演技をして

「カンナの二日の体臭が
しみこんだブラとパンツっ♡」

「お前の身体
手放さないからなっ♡」

「制服でもお前は
エロいんだからっ♡」

スーハー
スーハー

スーハー
スーハー

「ハメまくってやる♡」

隠れてめっちゃ
セックスする

